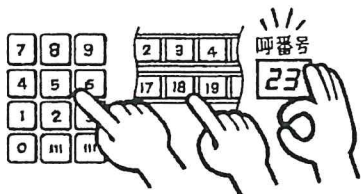


ロータリパーク取扱上の注意事項

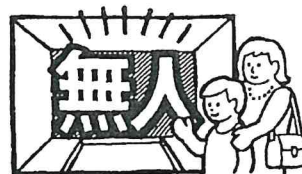
1 番号は正しく！

- 番号ボタンを押しましたら、押した番号が正しいか、呼番号表示でよく確かめてください。
- 番号が違うと、ご自分用の呼出しができません。



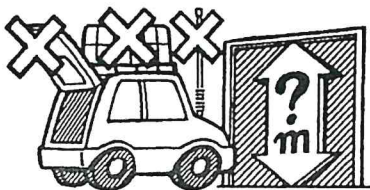
2 まず安全、無人を確認。

- 人がいると、人身事故が起き、大変です。オペレータ（操作者）の管理責任も問われます。
- 車内荷物の出入は、入庫前に済ませましょう。



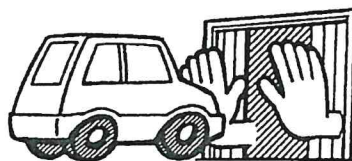
3 入口の高さ制限を厳守。

- トランクドア、リヤドアは閉めてください。ルーフの荷は降ろし、アンテナも下げて下さい。
- 高さ制限を守らないと機械にぶつかり、重大事故を招きます。



4 完全に開いてから入庫開始。

- 入口扉が完全に開き、機械が止まってから入庫しないと、大事故の危険があります。



5 進入速度は時速5 km以下で。

- スピードが速すぎると、正しい位置に止まれず、機械にぶつかり、危険です。



6 正しい位置に停車。前後も、左右も。

- はみ出すと、機械が途中で止まったり、車が損傷するなどの危険があります。



7 出庫後は、必ず入口ドアを閉めます。

- 扉を閉めないと、次のお客様が「呼出し」ができず迷惑になります。



8 動かないとき、わからないとき、事故・災害の時は・・・

- 管理者の方は取扱説明書内の「7 事故や災害のとき」、「8 故障のとき」をごらんください。それでもわからないときには、SMECの最寄りの営業所にお電話ください。
- テナントの方は、管理者の方にご連絡してください。



- 立体駐車設備は定められた方（運転管理者の方、またはテナントで認定された方）以外には、絶対に操作させないようにしてください。

不特定のご利用客の入出庫につきましては、必ず管理者が立会い、監視・誘導してください。

2 運転をはじめる前に



この項では、毎日の設備運転を開始する前にテナントの方にさせていただきたいことをご説明します。

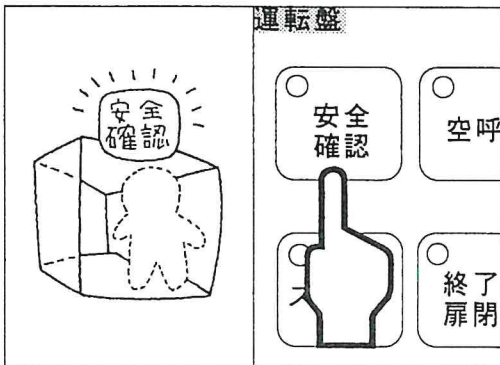
設備を運転できる人は？



立体駐車設備は、定められた方（運転管理者の方、またはテナントで認定された方）以外には、絶対に操作させないようにしてください。
また設備の運転中は、いつでも非常停止ができるよう、運転盤から離れないでください。

運転開始の準備

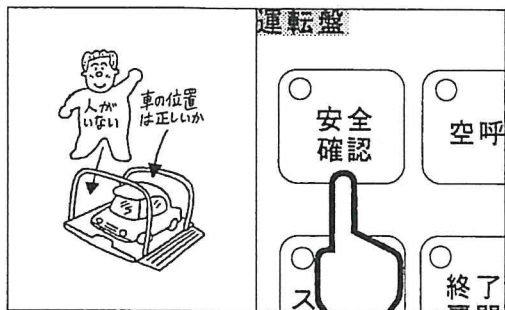
安全の確認



運転盤の「安全確認ボタン」が点滅した場合は、運転できません。必ず駐車室内に人がいないことを確認した後に、「安全確認ボタン」を押してください。ランプが消えて運転できるようになります。

3 運転をするとき

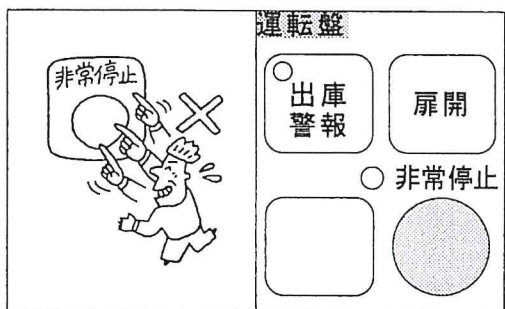
この項では、入庫・出庫を問わず、設備運転中の注意事項についてご説明します。



安全確認の徹底

入庫、出庫を問わず、運転操作につきましては、必ず駐車室内に人がいないことを確認したうえで、「安全確認ボタン」を押すことを励行してください。

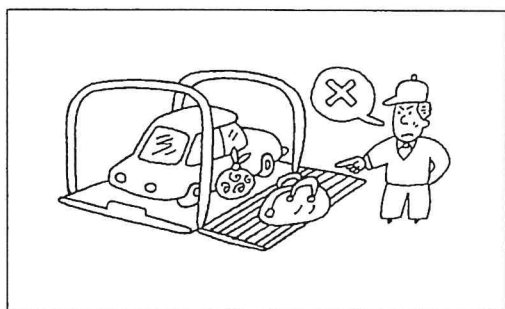
- とくにテナント（会員）の場合は、このボタンを押さないとドアが閉まらず、あとの操作ができません。
- 「安全確認ボタン」を押して運転できない場合、室内に人がいないか、車の位置は正しいかを再確認してください。



非常停止ボタン

「非常停止ボタン」は、みだりに押さないでください。万一非常停止した場合は、原因をよく確かめたうえで、異常がなければ運転盤の「非常停止ボタン」をもう一度押して、復帰させてください。

少しでも不審な点があれば、直ちに管理者の方へご連絡してください。



物を放置しない

ケージ内には、車以外のもの（鞆、その他の荷物）を放置しないでください。また、歩行デッキにも荷物を置かないでください。

- 車以外のものをケージ内に放置したまま駐車設備を運転しますと、車および駐車設備を破損し、事故につながります。

4 入庫するとき

この項では、自動車を入庫するときの、テナントの方の操作のしかた、およびドライバーの入庫時の注意事項についてご説明します。

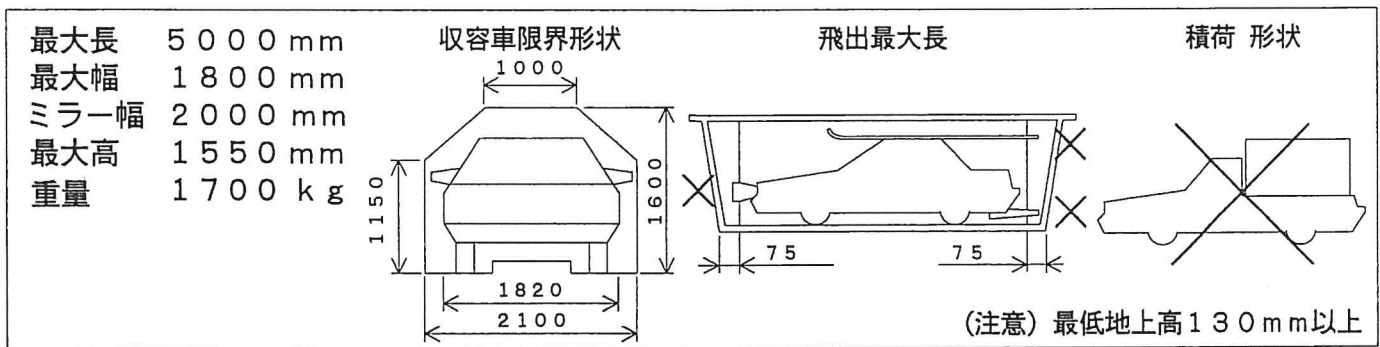
入庫できない車のチェック



制限寸法と形状

ご利用客については、入庫の前に、必ず下記のような制限に該当しないかどうかを、チェックしてください（運転盤にも図示してあります）。

制限範囲以上の車の入庫は、トラブルの原因となりますのでご注意ください。



外観によるチェック

最低地上高の低い車や改造車

- 改造、積載などによる最低地上高の低い車
- 後部にマフラーが突き出た車
- 前部にフォグランプなどが出た車



大型のミラー

タイヤ側面から170mm以上ミラーが張り出しているとケージに当たる恐れがあります



タクシーなどの防犯灯など

- タクシーの防犯灯
- 宣伝カーの屋上看板など



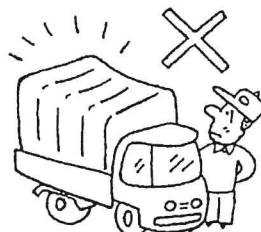
上開きのドア

ドアが上方に開くタイプの車（一部収容可能車もあります）



枠を組んだ車

荷台に枠を組んだり、そこに幌をかけている車



入庫前のドライバーの注意

同乗者の扱い

ドライバー以外は、車が入庫する前に降ろし、下車したあと、ドアは確実に閉めてください。

- ドアが確実に閉まっていないと、駐車設備の運転中にドアが開き、ドアおよび駐車設備を破損し、事故につながります。



荷物の積み降ろし

荷物の積み降ろしも、車が入庫する前にすませてください。

- 駐車室内での荷物の積み降ろしの作業は、荷物の置き忘れから、駐車設備運転中に、荷物の落下により、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



アンテナの扱い

自動車のアンテナは、入庫する前に降ろしてください。

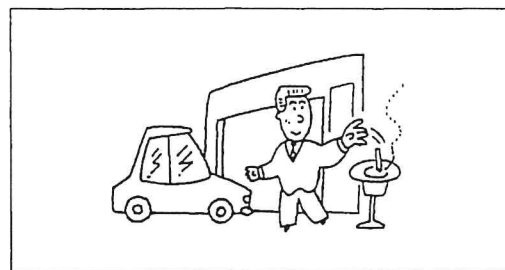
- アンテナを立てたまま入庫しますと、アンテナがハンガーに当たり、アンテナが破損する恐れがあります。



必ずタバコを消す

駐車室内は禁煙です。入庫する前に、タバコの火は必ず消してください。

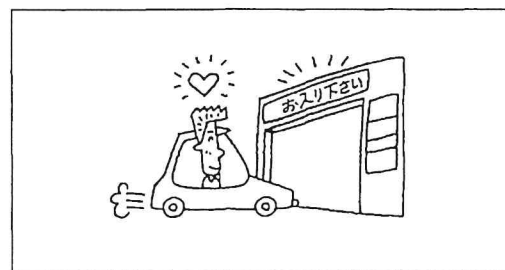
- 駐車室内では車に、多量のガソリンがあり、火気は大変危険です。



駐車室内への進入

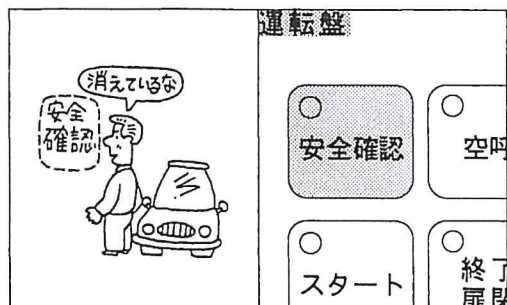
出入口の上の入庫案内灯に「お入り下さい」のランプが点灯してから、車を前進でゆっくりと（制限速度5キロ以下厳守）入庫してください。

- あわてて入庫しようとしてしまうと、正しい位置に車が止まらず、車および駐車設備の破損、人身事故につながります。



会員の暗証による ケージの呼出し方法

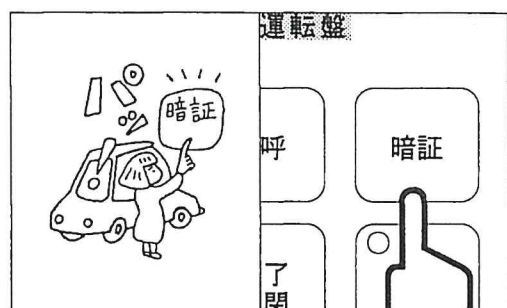
テナント（会員）が暗証番号によって呼出す方式には、「フリーロケーション方式」と「固定方式」があります。「フリーロケーション方式」では、暗証番号を入力すると特定のケージでなく空いているケージが呼出されます。「固定方式」では、暗証番号に対応して定められたケージが呼出されます。



1 安全の確認



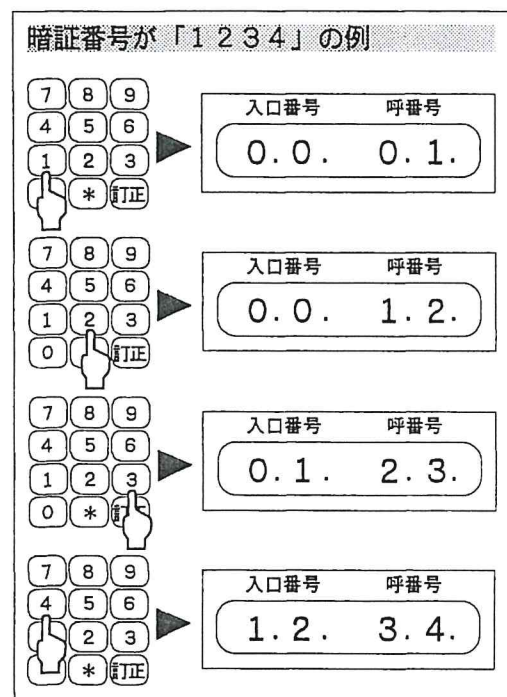
運転盤の「安全確認ボタン」が消灯していることを確認してください。会員呼出しの場合は、通常はドアが閉まっているので、室内に人がいないことを確認してから運転操作を始める必要があります。



2 「暗証ボタン」を押す

運転盤の「暗証」のボタンを押します。

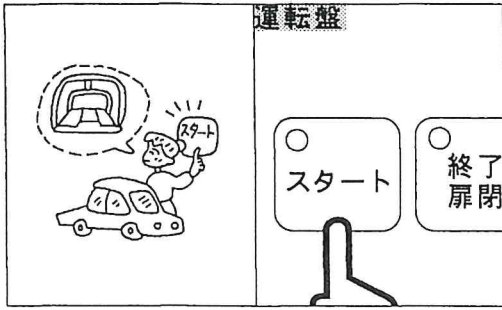
3 暗証番号を押す



続いて暗証番号（4ケタ）を運転盤のテンキーで入力してください。テンキーを1つずつ押していくと、運転盤の「入口番号」と「呼番号」のデジタル表示部（各2ケタずつ）に、左図のように順次数字が出てきますから、誤りがないか確認してください。

●数字の右下のポイントの点灯は、入力中であることを示しています

4 入庫するとき

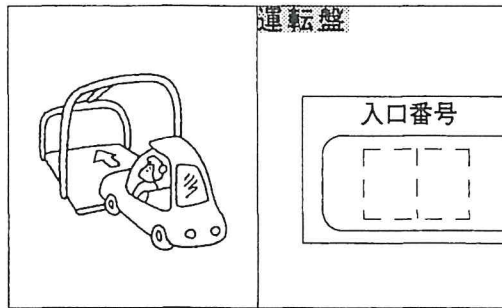


4 「スタート」を押す

暗証番号を入力し確認したら、運転盤の「スタートボタン」を押してください。フリーロケーション方式では、片荷にならず、かつ最も近くにいる空ケージが呼出されます。

固定方式では、暗証番号に対応して定められたケージが呼出されます。

●会員操作の場合は、「空呼ボタン」を押す必要はありません。



5 ケージ到着

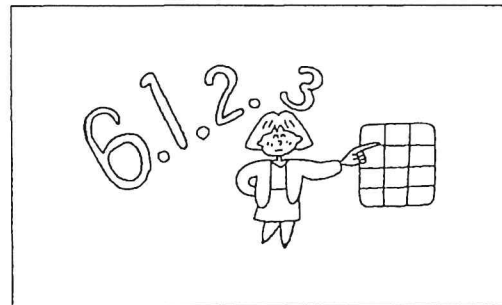
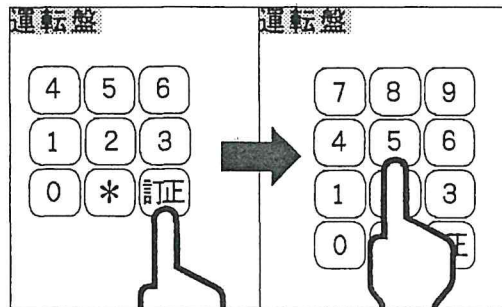
「スタート」を押すと、起動ブザーが約4秒鳴った後、ロータリの回転が始まります。

このとき「入口番号」のデジタル表示の番号が順次変化し、呼ばれたケージが出入口に近づいてくることがわかります。そしてケージが到着するとドアが自動的に開きます。

6 暗証番号の訂正

「スタートボタン」を押す前の訂正

暗証番号を押し間違えたときは、「訂正ボタン」を押して正しい番号を入力するか、または続けて正規の番号をテンキーから入力すれば訂正できます。



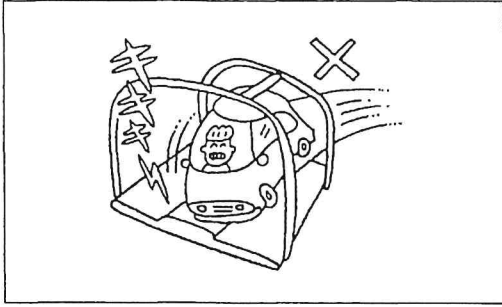
●ただし、3ケタの間違い、例えば「1. 2. 3」と入力すべきところを、「4. 5. 6」と押してしまい、続けてテンキーから入力訂正する場合は、「1. 2. 3」と押すと、表示は「6. 1. 2. 3」になってしまいます。必ず、「0. 1. 2. 3」と押してください。

「スタートボタン」を押した後の訂正

正規の暗証番号以外の番号で「スタートボタン」を押した場合は、入口番号の表示は現在出入口にいるケージの番号となり、ブザーが鳴って、ドアは開きません。この場合はもう一度、最初から操作をやり直してください。

●5回以上連続して正規の番号登録がされないときには、その番号登録を停止するとともに、ブザーが鳴り、警報を出します。これを復帰するには、「制御電源スイッチ」を一度「切」にした後、「入」にしてください

駐車室内でのドライバーの注意



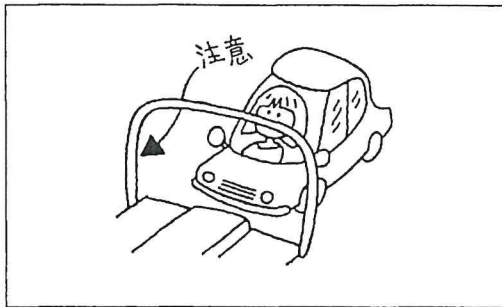
パレットでの走行



車はパレットのタイヤ溝に合わせて進入し、パレット上での急発進や急停止はしないでください。

また、パレット溝の立ち面でタイヤなどを傷つけないよう、注意してください。

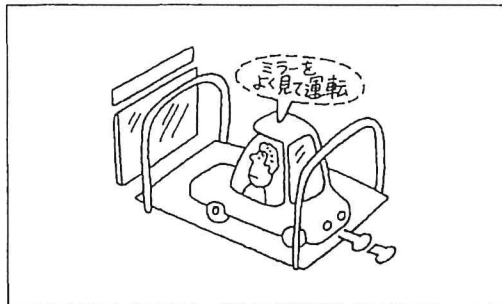
●パレット上での急発進や急停車は、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



ドアミラー付の車の場合



ドアミラーの付いた車は、パレットの中央を進み、ミラーがハンガーにぶつからないように注意して停車してください。



停車のしかた

パレットの上では、前面のミラーを見ながら運転し、同時に「自動車位置案内灯」の表示をよく見て、「停車」「ブレーキを引きドアを閉めて降りてください」または、「停車」「ギヤーをバック又はPに入れて降りてください」が点灯する位置まで、ゆっくり車を進めてください。

標準仕様

停車

ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい

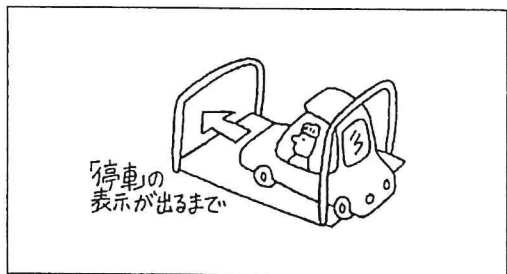
寒冷地仕様

停車

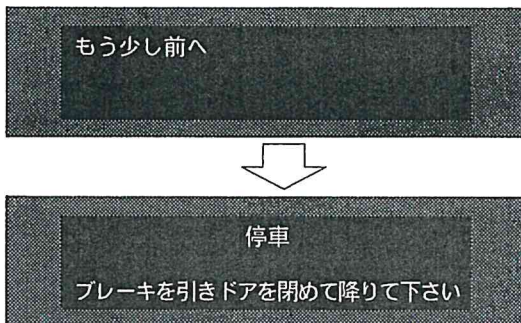
ギヤーをバック又はPに入れて降りて下さい

前後調整のしかた

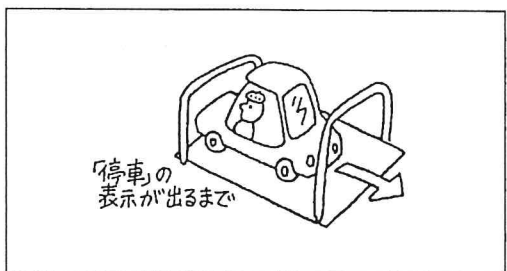
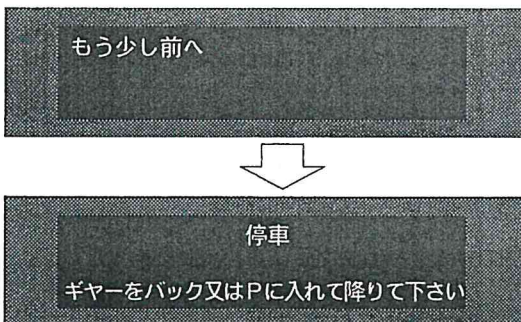
車が停車位置に達しない間は、案内灯に「もう少し前へ」の表示が出ます。その場合「停車」の表示が出るまでゆっくり前進してください。



標準仕様

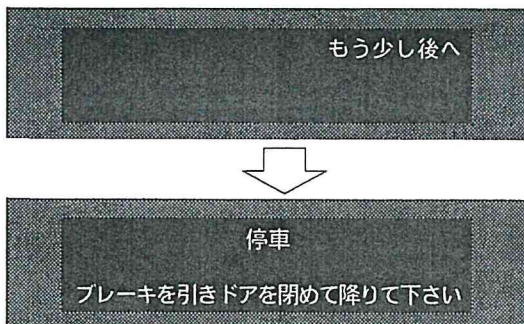


寒冷地仕様

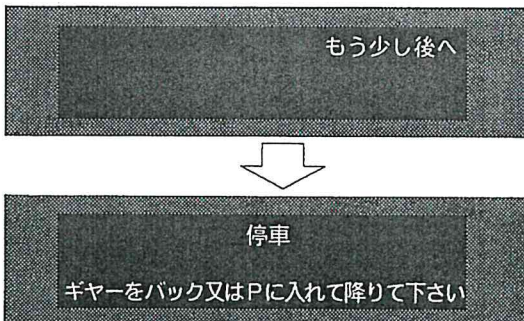


また、車が前へ進み過ぎたときは、案内灯に「もう少し後へ」の表示が出ます。その場合「停車」の表示が出るまで、ゆっくり車を後退させてください。

標準仕様



寒冷地仕様



高さ制限以上の車が入庫しようとしたとき

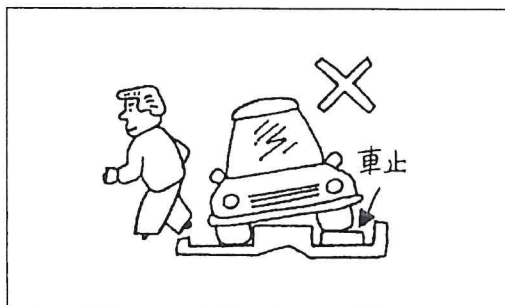
高さ制限装置

高さ制限以上の車が入庫しようとしたときは、案内灯に「もう少し後へ」が「ピーッ」というブザーとともに点灯して、後退するよう指示します。この場合、車を出庫させてください。出庫しない限り駐車設備の運転はできません。



フロントおよびリヤにパーツをつけた車の場合

車長制限は光電センサーで行っていますが、バンパーにゴム等のガードを取り付けたり、フォグランプやハイルーフ車等のスペアタイヤ、リヤアンダーミラーが前後に飛び出ている場合など、検出できず車長制限を越えて「停車」の表示が出ることがあります。この様な車を入庫させるときは、必ず車長制限内であることを確認してください。



車止めについて

パレットには車止めがついていますが、これは停車位置の目安にすぎません。正しくは、案内灯の「停車」「ブレーキを引きドアを閉めて降りてください」または、「停車」「ギヤをバック又はPに入れて降りてください」の表示に従ってください。

●車止めにタイヤを乗上げたまま駐車しないでください。

車のバランスが不安定になり、駐車設備運転中に、車および駐車設備を破損し、事故につながります。



ブレーキを引く



標準仕様の場合

案内灯の表示にも「ブレーキを引き・・・」と出ますが、必ずサイドブレーキをしっかりと掛けてください。またギヤは「バック」または「P」にしておいてください。

停車

ブレーキを引きドアを閉めて降りて下さい



ギヤを「バック」または「P」に入れる



寒冷地仕様の場合

寒冷地仕様の場合は、サイドブレーキを掛けず、ギヤを「バック」または「P」にしておいてください。

停車

ギヤをバック又はPに入れて降りて下さい



ドアは必ず閉める



車から降りるときは、車のすべてのドア〔前後ドア（ウィング式ドア含む）、リヤードア、トランクドア〕を確実に閉めてください。

閉め忘れますと運転中にドアが開き、機械と干渉し、車が破損したり大事故を起こしたりする危険があります。

●特にウィング式ドア、リヤードア、トランクドアについては、ドア保護装置を装備した駐車場でも、現在のドア保護装置では、半ドアまたはドア開状態の検出ができませんのでご注意願います。



ケージを変形させたとき



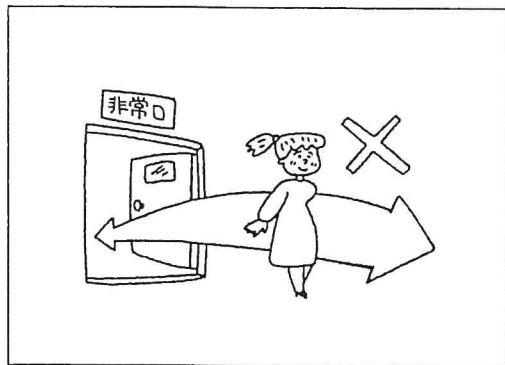
入庫のとき車がケージのハンガーなどに衝突して、ハンガーなどを変形させたときは、そのまま設備の運転を開始しないで、すぐSMECの最寄りの営業所にご連絡してください。

また、入庫のとき車が制限プレートを折損または外したときは、制限寸法が形状制限がオーバーしている車ですので、入庫しないでください。

（「入庫できない車のチェック」を参照してください）

そのままロータリを運転しますと、重大な事故につながる恐れがあります。すぐSMECの最寄りの営業所にご連絡してください。

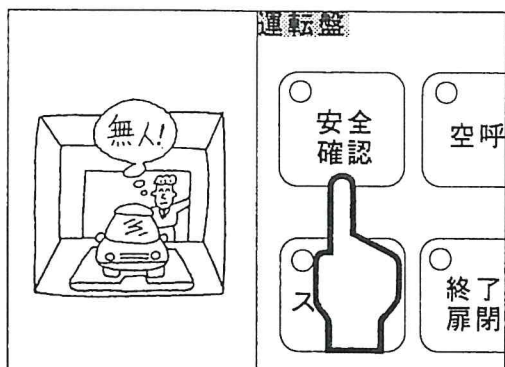
駐車室を出るとき



駐車室の出口



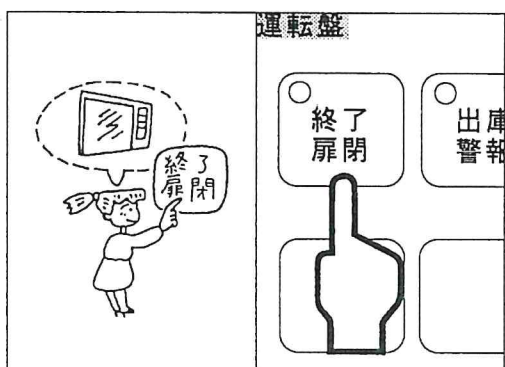
ドライバーが駐車室に入ったりするとき、非常口は絶対に使用しないでください。また、光電センサーにも触れないでください。どちらの場合も安全装置が働いて、設備の運転ができなくなります。



室内の安全確認



駐車室内が無人であることを確認してから、運転盤の「安全確認ボタン」を押してください。

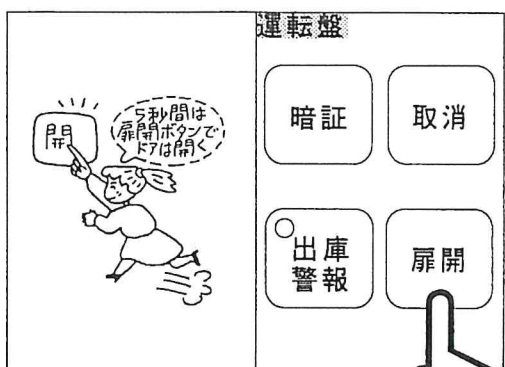


駐車室の扉閉め



「安全確認ボタン」を押した後、必ず運転盤の「終了／扉閉ボタン」を押して、ドアを閉めてください。

ドアを開けたままにしておくとブザーが鳴り、警報を出します。警報を止めるにはドアを「閉」にしなければなりません。



扉開の訂正

テナント（会員）操作の場合

駐車室のドアを閉めた後、5秒間は運転盤の「扉開ボタン」でドアを開くことができますが、5秒経過後は開くことはできません（この場合は、もう一度暗証番号の登録からはじめてください）。

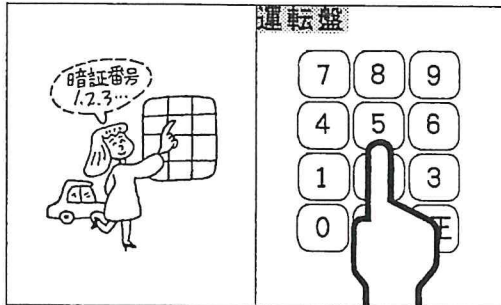
5 出庫するとき

この項では、自動車を出庫するときの、テナントの方の操作のしかた、およびドライバーの出庫時の注意事項についてご説明します。

出庫操作のしかた

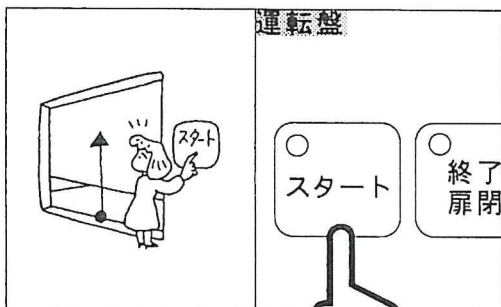
1 番号を入力する

運転盤の「テンキースイッチ」で、テナントの方は「暗証ボタン」を押した後、ご自分の「暗証番号」を入力してください。



2 「スタート」を押す

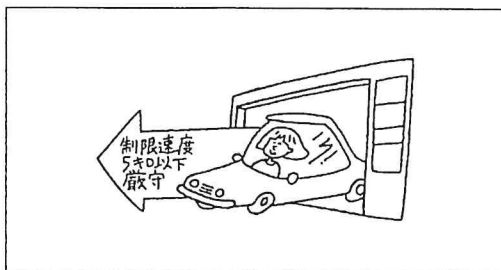
次に「スタートボタン」を押してください。
ロータリが運転を始めて、呼出したケージが出入口に到着し、自動的にドアが開きます。



3 出庫させる

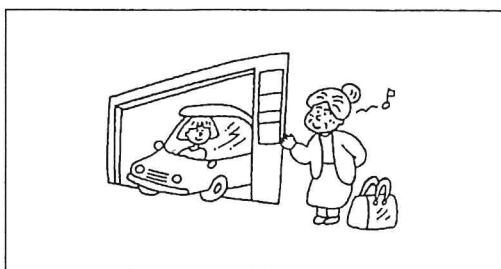
ケージが完全に停止してから、ドライバーが駐車室内に入り、ゆっくり（制限速度5キロ以下厳守）車を出してください。

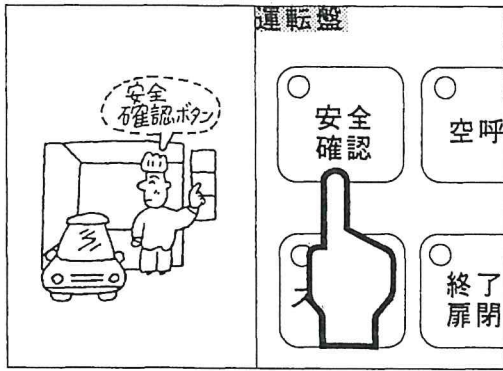
●ドライバーが室内に入り出庫させている間は運転ロックがかかり、設備の運転は行なわれません。



4 パートナーは入口の前で

出庫のとき、駐車室内に入り、車を出すのはドライバーだけにし、同乗の方や荷物は出入口の前で待機しててください。

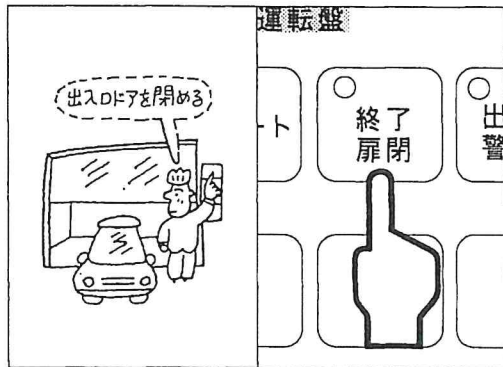




5 安全確認ボタンを押す



駐車室内に人がいないことを確認した後に、運転盤の「安全確認ボタン」を押してください。運転ロックが解除されます。



6 ドアを閉める



出庫が終わったら、運転盤の「終了／扉閉ボタン」を押して、出入口ドアを必ず閉めてください。これを怠ると、思わぬトラブルの原因になります。

- テナント（会員）操作の場合、ドアが開いていて、空きケージにそのまま他のテナントの方が入庫した場合、出庫のとき暗証番号で自分の車が呼出せなくなります。